

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2012年1月～3月期

第64回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 (平成23年10月～12月との比較)
 - (2)前年同期比 (平成23年 1月～ 3月との比較)
 - (3)来期見通し (平成24年 4月～ 6月の見通し)
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1)回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	130社
回答率	26.0%

(業種別)

製造業	42社
建設業	25社
卸売業	14社
小売業	23社
サービス業	26社
合計	130社

(2)実施時期

2012年1月～3月期

(3)調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4)調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5)調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

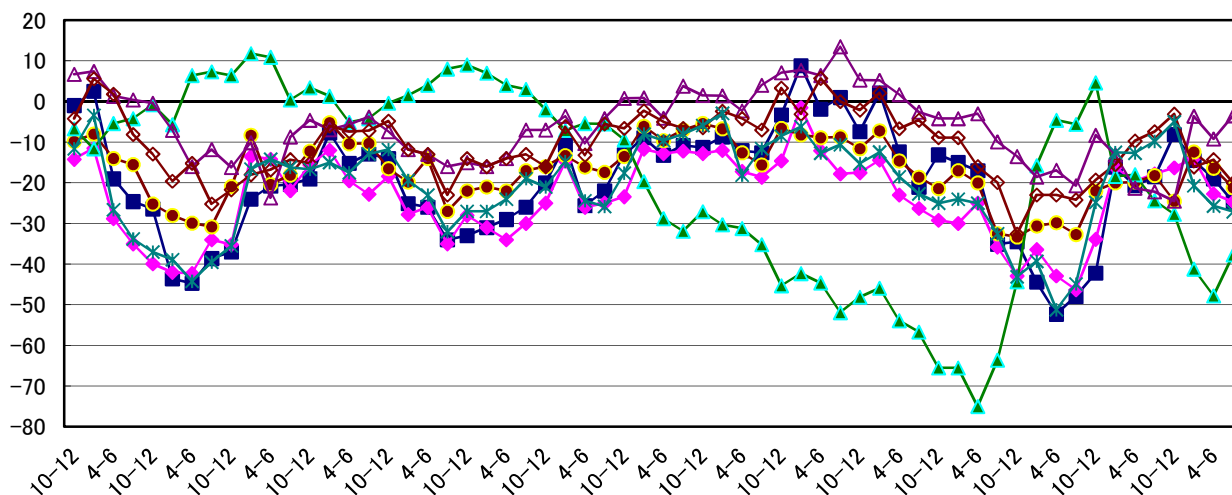
DIとは(景況判断指数)とは

DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

売上DI = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)
 採算DI = (好転 ") - (悪化 ")
 資金繰りDI = (好転 ") - (悪化 ")
 仕入価格DI = (下落 ") - (上昇 ")
 雇用状況DI = (不足 ") - (過剰 ")
 設備投資DI = (拡大 ") - (減少 ")
 業況DI = (好転 ") - (悪化 ")

前年同期比(全企業DIの推移)



	09・7-9	10-12	10・1-3	4-6	7-9	10-12	11・1-3	4-6	7-9	10-12	10・1-3
■ 売上	-47.9	-42.2	-16.1	-20.7	-18.5	-8.1	-14.5	-19	-24.7	-8.1	1.5
◆ 採算	-46.3	-33.9	-16.2	-19.6	-17.8	-16.3	-13.9	-22.7	-24.7	-22.6	-10.3
● 資金繰り	-32.7	-22	-20	-19.8	-18.2	-24.5	-12.4	-16.4	-21.2	-15.3	-9.6
▲ 仕入価格	-5.6	4.6	-18.4	-18	-24.4	-27.7	-41.2	-47.8	-37.7	-41.8	-44.0
△ 雇用状況	-20.7	-8.3	-13.1	-21.3	-22.2	-24.5	-3.6	-9.2	-3.5	1.6	0.7
◇ 設備投資	-24.2	-19.3	-15.5	-9.7	-7.4	-3.1	-16.1	-14.3	-20	-11.4	-0.7
* 業況	-44.9	-24.8	-12.5	-12.7	-9.8	-5	-20.7	-25.7	-27.1	-21.3	-14.2

3. 概況

「上昇を続ける仕入価格により不需要により経営圧迫」

(1) 今期の特徴

全業種を通して、今回の調査において仕入価格の上昇を示唆する声が多くあった。原油の高騰だけでなく、材料等の仕入価格の上昇により利益の圧迫につながっている。また、仕入価格の上昇に加え、利益幅の少ない需要または需要量自体が減少していることにより、企業の置かれる立場がますます厳しいものとなった。

しかし、東日本大震災やタイの洪水からの復興による需要も徐々にではあるが、増えてきている。合わせて、季節的な要因からくる、回復を予想する企業が多かった。だが、依然として、長引く不況により、需要が低迷しており、消費者の消費行動が止まっていることにより、利益確保が困難な状況が続いている。

(2) 来期の見通し

今期と同様に、仕入価格の上昇が経営を行う中で大きく影響を及ぼす状況にある。新年度に入り、新たな需要を見込む企業も少なくないが、多くの企業で依然として厳しい経営環境を予想している。

需要が低迷する中で少ない受注をとるために競争の激化が進み、利益の残らない負の連鎖が続いている。

自社独自の取り組みや催事等による需要を見込む企業があり、来期に関しては順調に経営を行える企業との2極化が進むものと思われる。

(3) 経営上の問題点

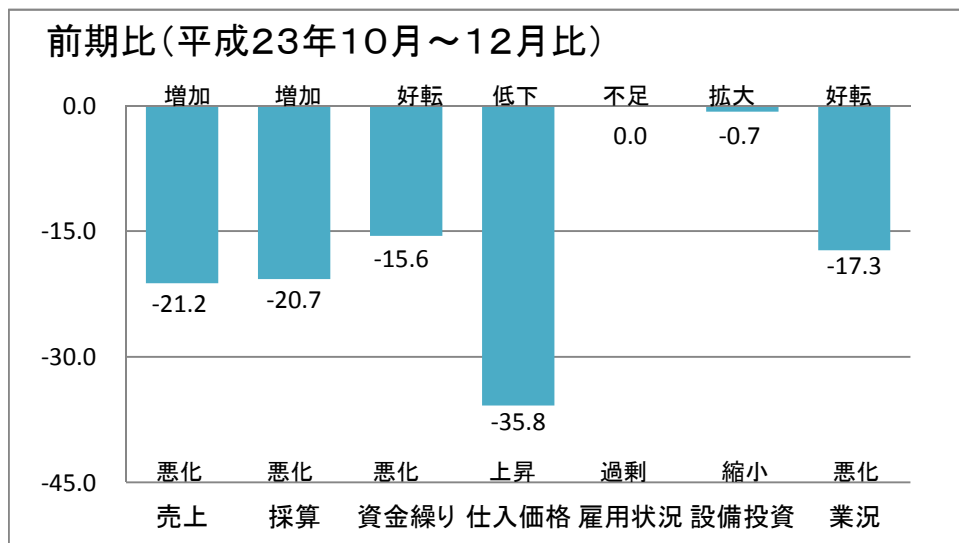
今回の上位順位は、1位に「需要の停滞」、2位に「原材料(仕入単価)価格の上昇」が挙げられ、3位は「製品(販売)単価の低下・上昇難」が続く結果となった。

(4) 今後の対応策

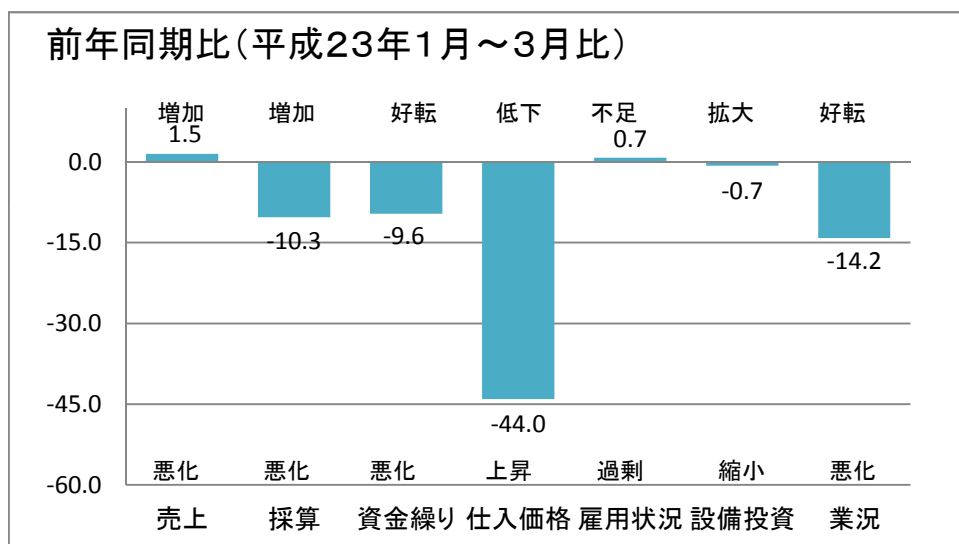
今回の上位順位は、1位に「新規市場を開拓したい」、2位に「その他の合理化を実施したい」、3位は「新製品の開発を行いたい」となった。

長引く経済低迷の中からの脱却と現状を乗り切るための施策について企業の関心は高い様子である。

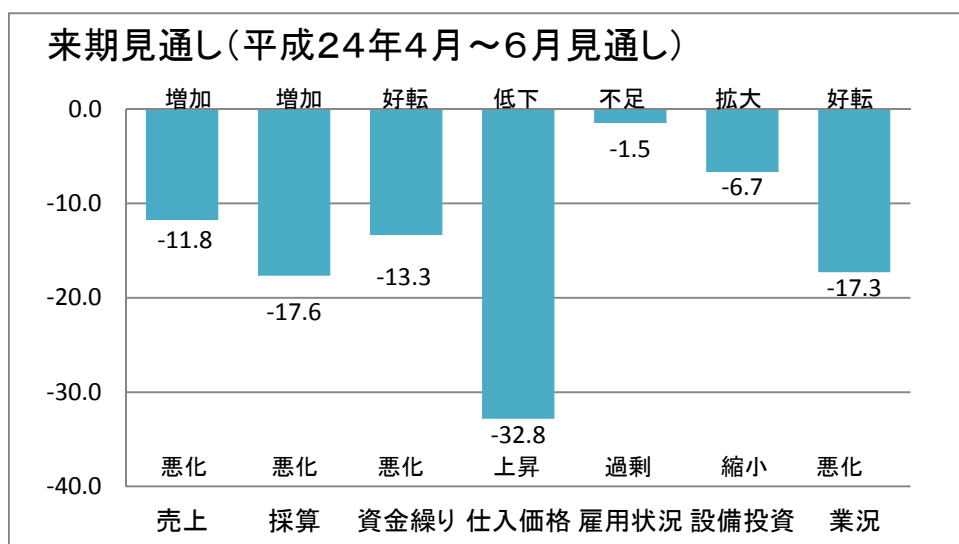
4. 県内の景気動向(全業種)



前期比を前回調査時と比較すると、(△4.6)であった業況DIが大きくマイナス拡大となり、前回同様に仕入価格DIの上昇は推移した。全業種を通して、今期の動向は厳しいものとなった。需要の季節的要因から来る悪化や燃料費の高騰、官民ともに需要の減少が進んだことにより、これまで以上に厳しい状況に置かれている結果となった。



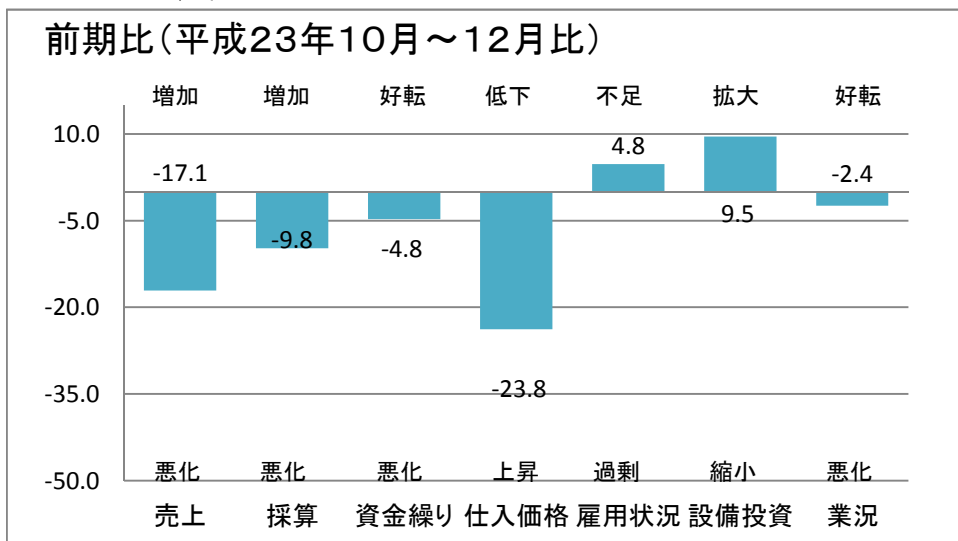
前年同期比を見ると、やはり仕入価格の上昇が高いマイナス推移(△44)を示した。重油や石炭などの燃料や材料等において上昇しており、経営を圧迫している。そのような中、年度末の需要や震災復興からくる回復など好転を示す業種、企業も現れてきている。しかし、全業種としては依然として経営を行うには厳しい環境となっている。



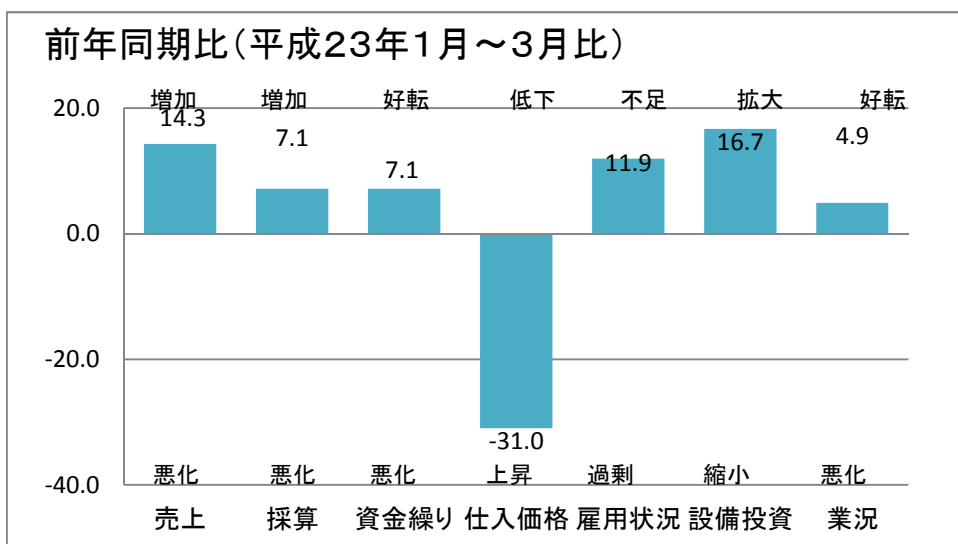
来期見通しでは、前回調査時と比較すると売上DI(△26.5)が15ポイント近い回復を見せ、来期における若干の好転を示す形となっている。自社内の努力により新たな需要の獲得を図ったり、催事等による需要を見込む企業が多い。その反面、官民ともに需要が見込めずないことに加え、仕入価格の上昇がさらに経営ならびに利益の確保を困難な状況にしている。

5. 業種別の景気動向

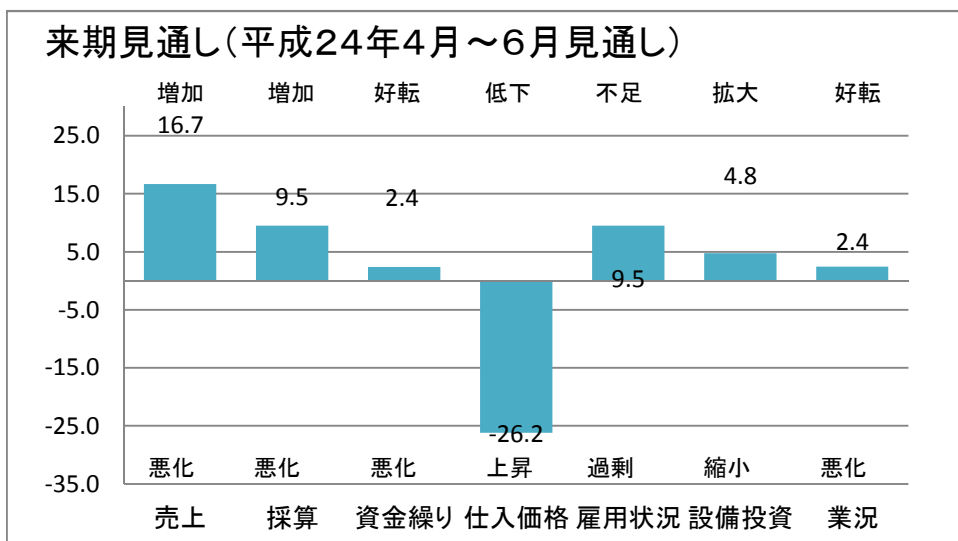
(1) 製造業



前期比を見ると、設備投資DIにおいて、プラスへと大きく伸びている。タイの洪水の影響からの回復による需要の回復や、工事の受注が見込めることにより大きく回復となった。しかし、仕入れ価格DI($\Delta 23.8$)が示す通り、仕入価格の上昇が企業を圧迫している。自社努力やコスト削減により営業を続けているが、燃料費の高騰なども重なり、さらに厳しい状況となった。



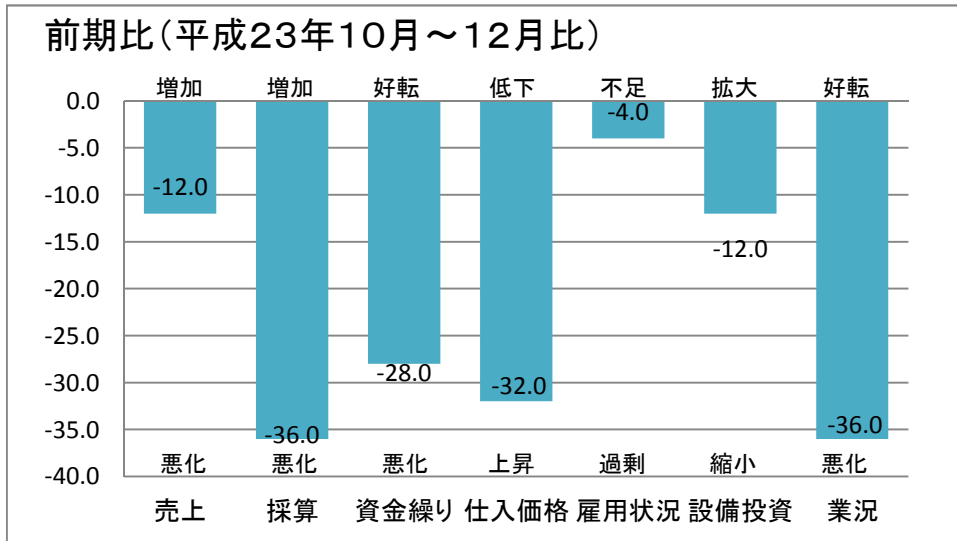
前年同期比では、前回調査時で($\Delta 52.9$)であった仕入価格DIが若干回復したものの、依然として高い水準で仕入価格の上昇を示している。燃料費の高騰やユーロの不安等が影響を及ぼしている。一方、売上DIはプラスに伸びており、季節的要因による売り上げ増加が背景にあるとみられる。実際に需要の見込みを上げる企業が多い。



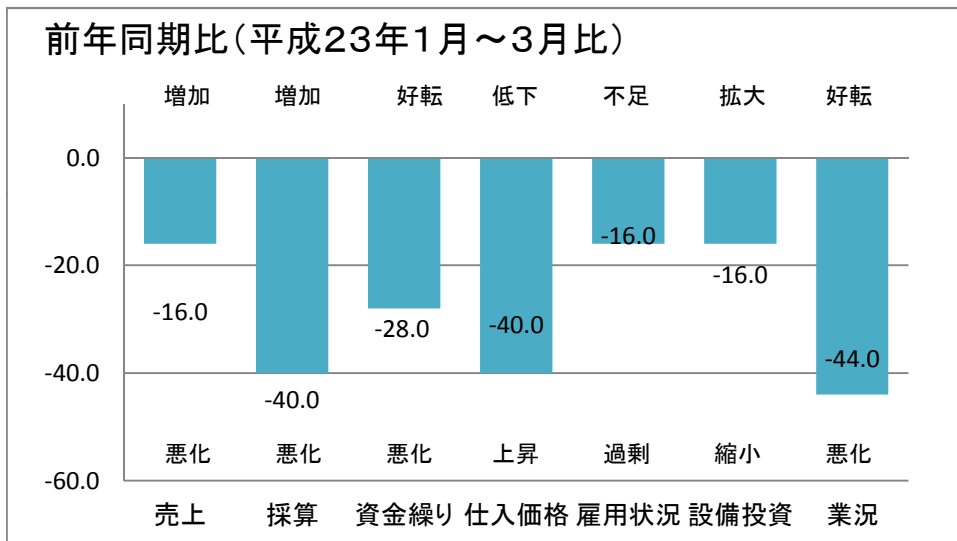
来期見通しでは、こちらも仕入価格の上昇が顕著に表れた。東日本大震災の影響により、資材等の高騰が影響の一部とされる。前回調査時では全てのDI値でマイナス水準であったが、仕入価格DIを除き、プラスに転じたことにより、需要の回復が予想されている様子である。震災からの復興や一部需要が増えてくる見込みが立っている。

5. 業種別の景気動向

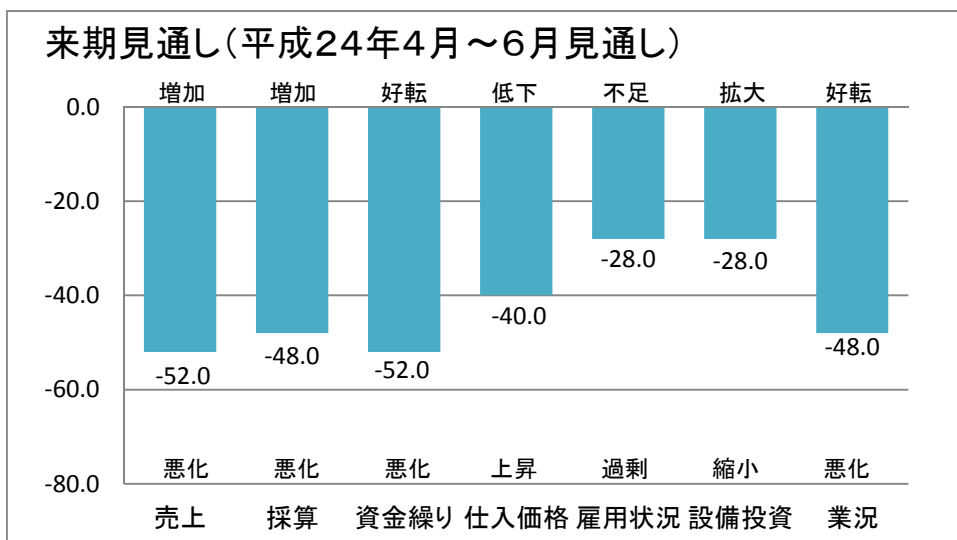
(2) 建設業



前期比では、採算DIならびに業況DIの悪化(△36)が突出してマイナス数値を示した。それに追随し、資金繰りDIや仕入価格DIにおいても高いマイナス数値を示した。今後の需要見込みを挙げる企業は少なく、需要の減少を挙げる企業が多い。合わせて、受注があったとしても利益の見込めない工事や受注金額の減少したものが多く、経営を圧迫した。



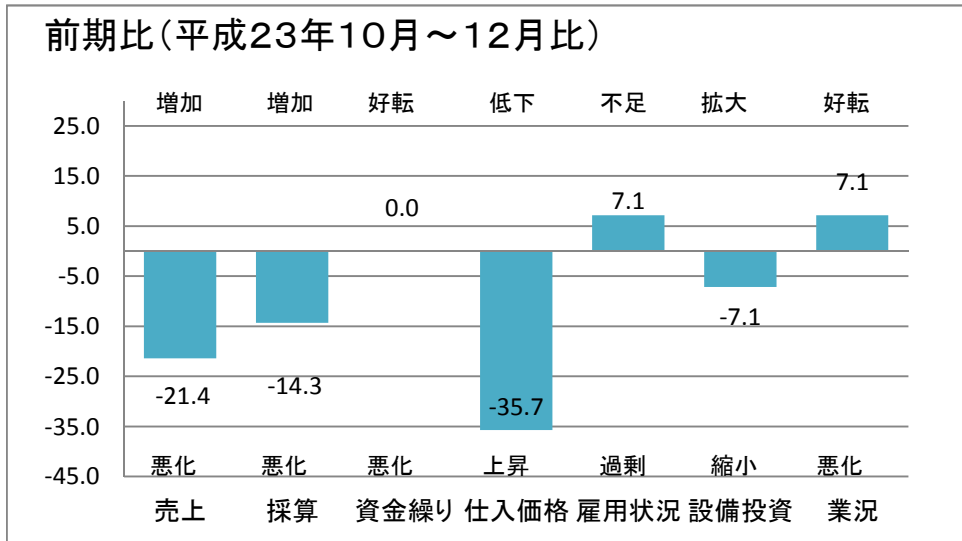
前年同期比を見ると、業況DIにおいて(△44)を示し、次いで採算DIと仕入価格DIにて大きなマイナスとなった。業況DIの悪化は特に多く、前回調査時で(△24)だったことから見ても業況悪化が進んだことがうかがえる。要因として、震災以降の需要の鈍化や公共工事の減少、長雨の影響等が考えられる。業界自体の環境の悪化が進んでいる様子である。



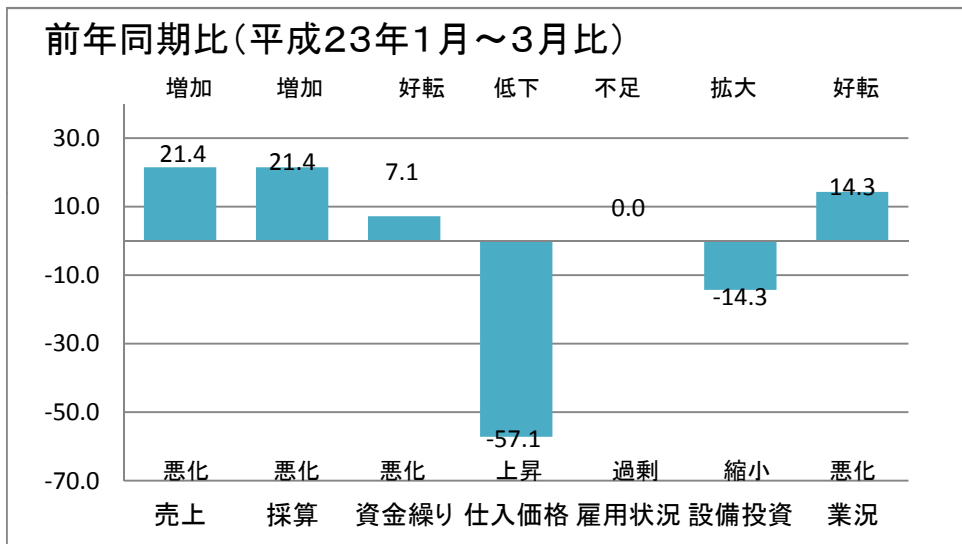
来期の見通しでは、売上DI、資金繰りDIの悪化が際立っているが、全体として高い水準のマイナス拡大となった。前回調査時においても同様にマイナス幅が大きく、業界全体で引き続き厳しい状況が続いている。震災復興による需要は宮崎までには波及していない。公共工事ならびに民間工事ともに見込みは少なく、仕入価格上昇等厳しい状況が続く。

5. 業種別の景気動向

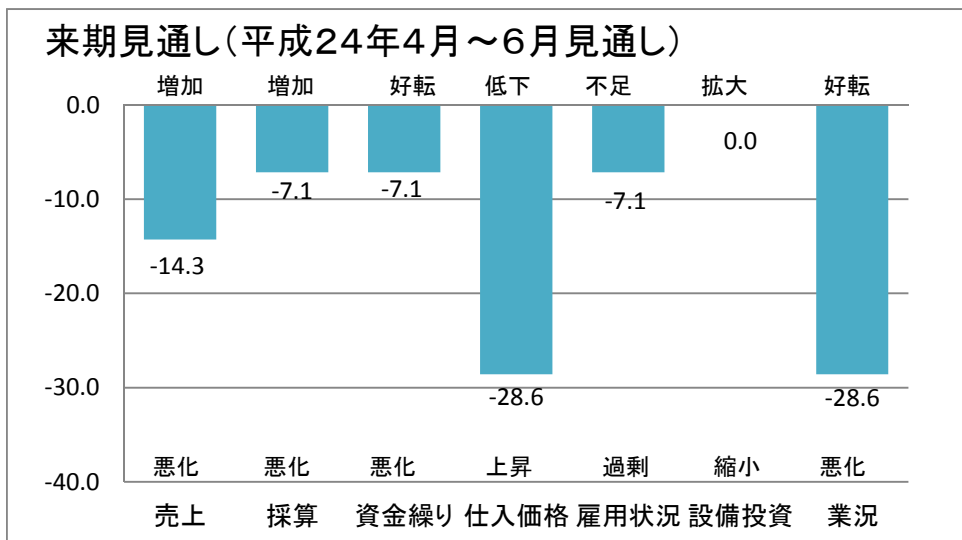
(3) 卸売業



前期比を前回調査時と比較すると、プラスを示していた売上DIと採算DIがマイナスとなり、ともに悪化の状況を示した。また、仕入価格DIにおいては、(△35.7)となり、燃料等資材の上昇が経営を圧迫している。業況DIはプラスの数値を示しており、年度末の需要と好材料が多い様子である。景気回復を感じる企業があるものの、十分な売り上げを確保するには至っていない。



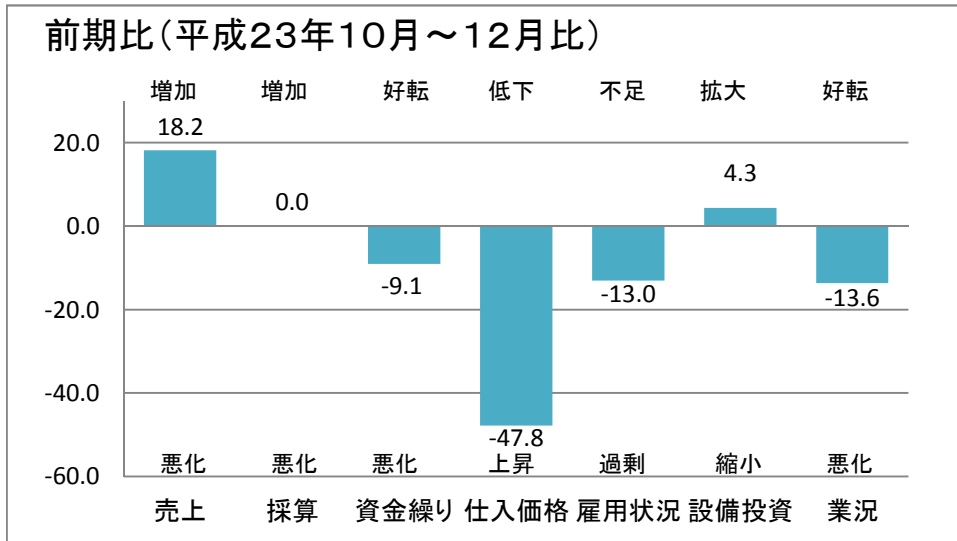
前年同期比を見ると、前回調査時で(△66.7)を示した仕入価格DIがわずかに回復したが、依然として高い水準でマイナスを示し、仕入価格の上昇が続いていることを表した。売上DIや採算DI、業況DIはともにプラス水準となり、前年と比較するとやや落ち着いた様子である。前年の落ち込みに比べると今期は少しずつであるが、需要の回復があったことによる。



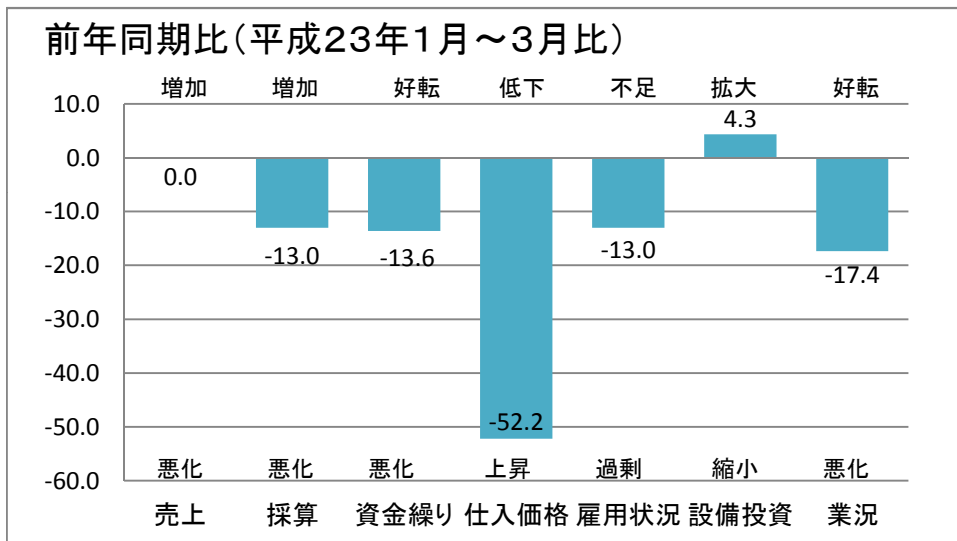
来期見通しでは、前回調査時に(△7.1)であった業況DIが今回の調査では(△28.6)を示し、来期において業況の悪化を懸念する企業が多いことを表した。また、仕入価格DIも高いマイナス水準となり、引き続き厳しい仕入環境が予想される。燃料費の高騰や電気量引き上げ、不需求などますます先行きを見通すことのできない状況となっている。

5. 業種別の景気動向

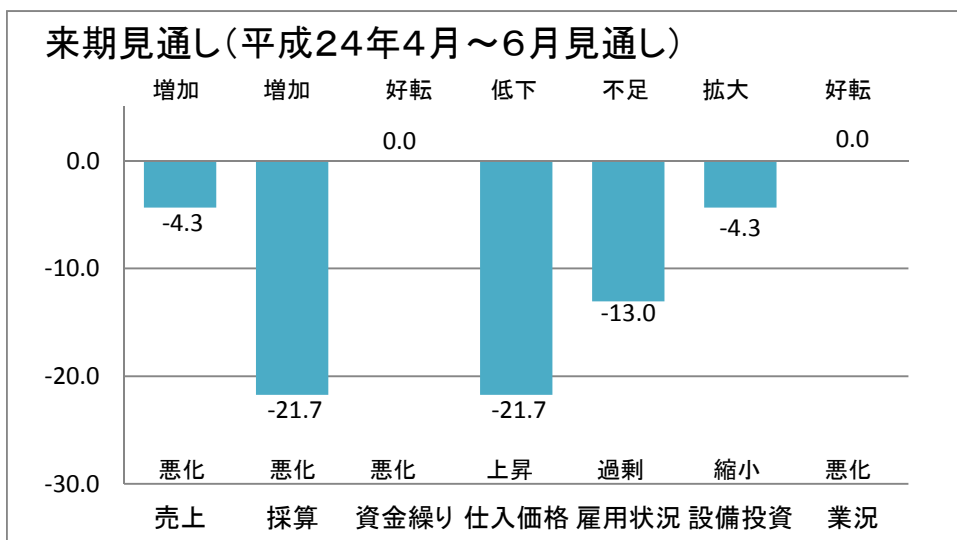
(4) 小売業



前期比を見ると、仕入価格DIの値が(△47.8)を示し、他の業種と同様に仕入状況の悪化を示した。また、前回調査時でプラスに推移していた業況DIが今回はマイナス数値となり、今期の悪化を示す形となった。原材料の高止まりや消費者の買い控え、景気の低迷等が要因として考えられる。しかし、季節的要因などの需要もあり、売上DIはプラスを示した。



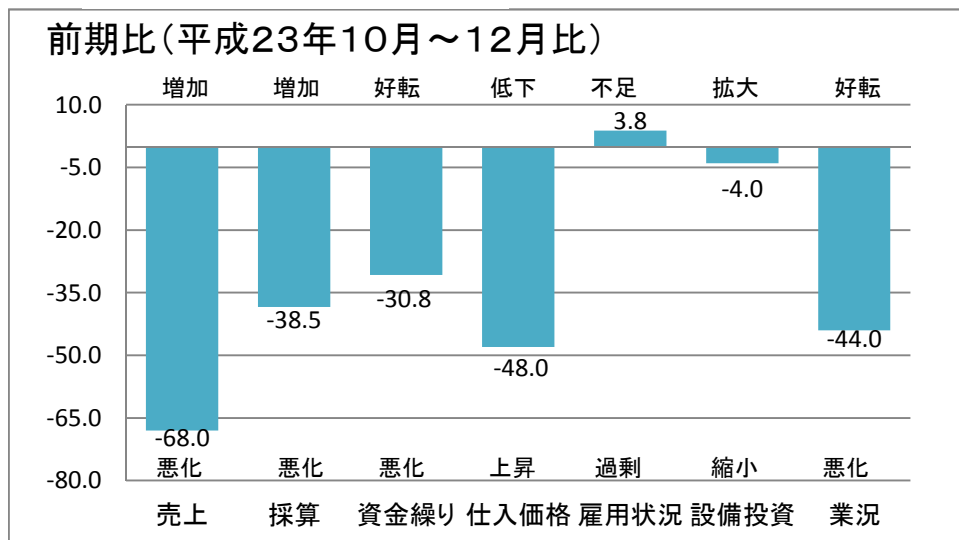
前年同期比を前回調査時に売上DI(△17.9)、採算DI(△32.1)であった項目においてマイナス幅が小さくなった。しかし、前期比同様に仕入価格DIの値は高いマイナス水準を示している。これまでの仕入価格の最高値となっていることに加えて、景気の低迷による買い控え、顧客の資金繰りがうまくいっていないことにより、負の連鎖が続いているようである。



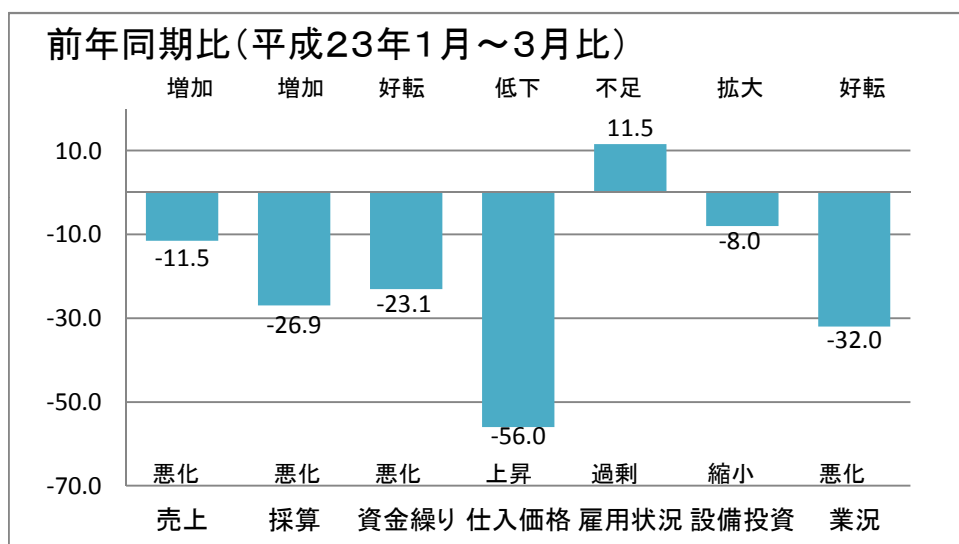
来期見通しを前回調査時と比較すると、仕入価格DIは同様に高いマイナス数値を示していることに加え、今期の調査では採算DI(△7.1)から△15ポイント近い悪化を示した。景気低迷から来る売上減少や仕入価格の上昇を売上高に転嫁できないことにより、採算の悪化を懸念する企業が多い様子である。しかし、来期の需要を見込む企業も少なくない状況である。

5. 業種別の景気動向

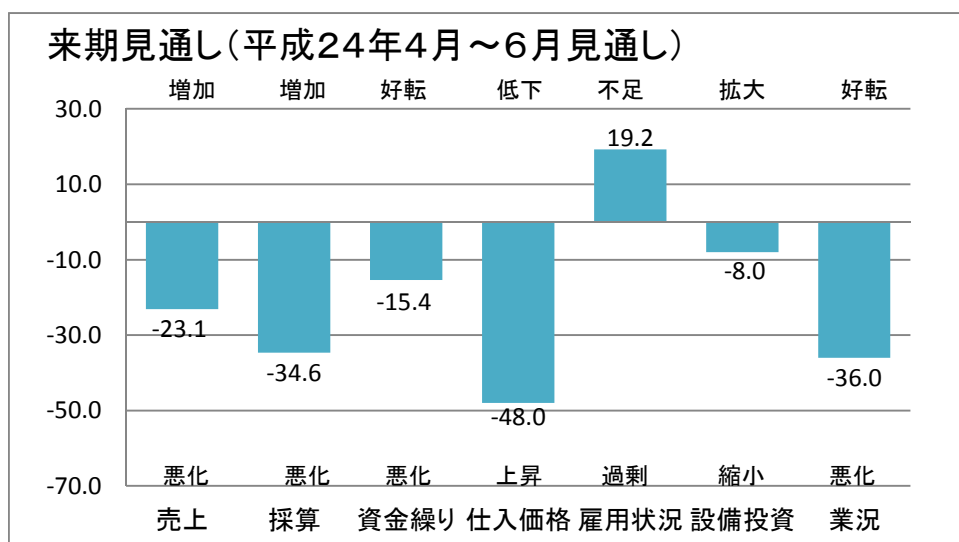
(5) サービス業



前期比を見ると、著しく売上DIの悪化を示し、前回調査時では0ポイントであったことから見ると、極端な落ち込みがあったものと予想される。また、採算DIにおいては(△30)近いマイナス拡大となり、今期の厳しい状況が浮き彫りとなった形である。原油価格の上昇や長引く景気低迷や同業種内の競争の激化により、企業の置かれる立場は一層厳しいものとなっている。



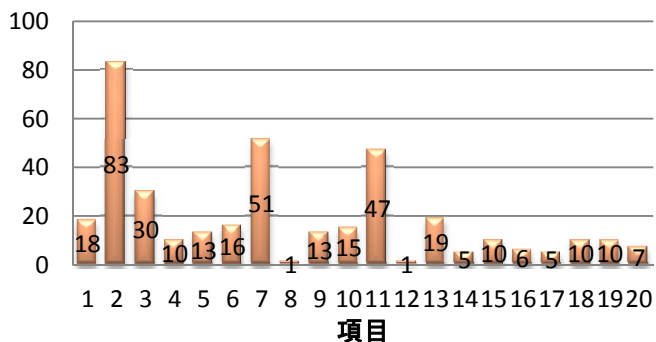
前年同期比の推移は前回調査時と比較するほぼ同じとなった。仕入価格DI、業況DIに変化が少なかったことより、企業の置かれる状況はほぼ変化がなく、厳しい経営を強いられている。前期の落ち込みと比較し好転したと感じる企業が多いものの、客数や客単価の減少、コスト高による業況の悪化を危惧する企業も多い状況である。



来期見通しにおいても、その動きは前回調査時と同様の水準を示した。特筆すべき好転の材料もなく、原油の高騰や消費者の消費行動の鈍化により、収益の見込めない状況を見越す企業が多い。比較的、来期においては平均的な需要になると挙げる企業が多いが、引き続き景気低迷により予約状況の悪化など懸念材料が多く残っている。

6. 経営上の問題点

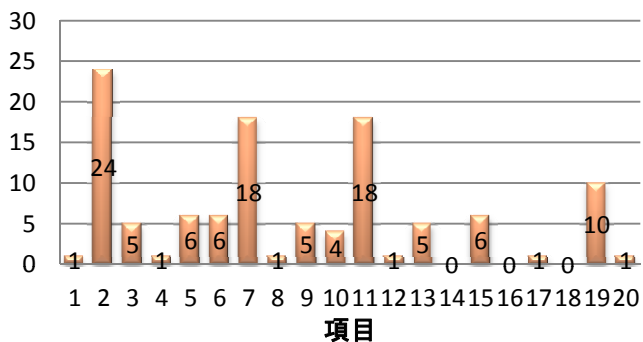
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 熟練技術者(従業者)の不足

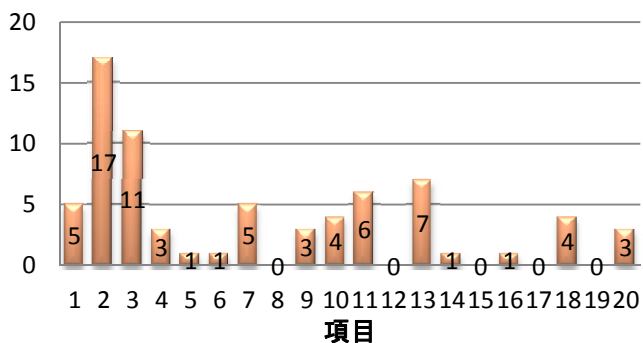
製造業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 円高による海外製品との競争激化
- 5位 生産設備の不足・老朽化

建設業



順位

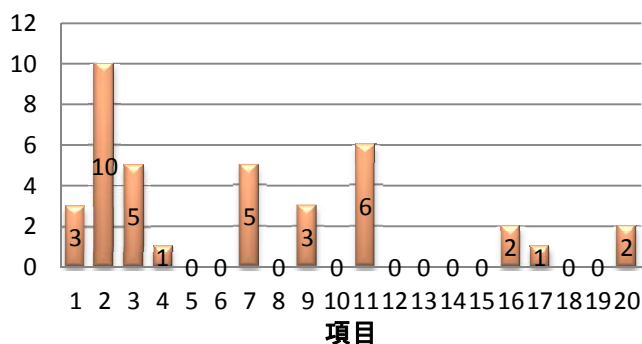
- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 熟練技術者(従業者)の不足
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

6. 経営上の問題点

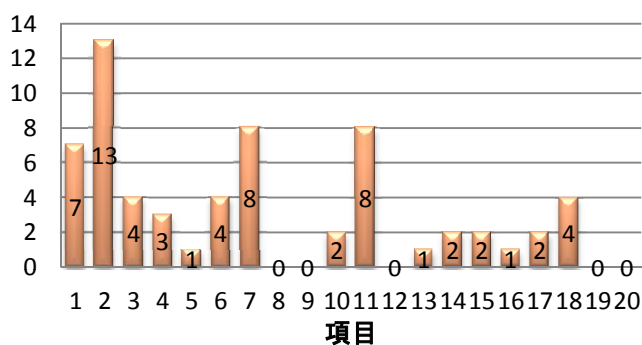
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

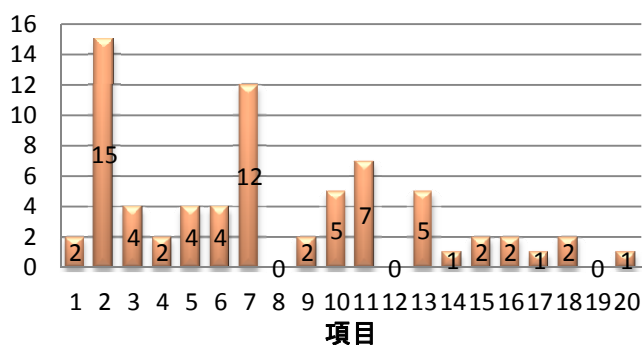
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

サービス業



順位

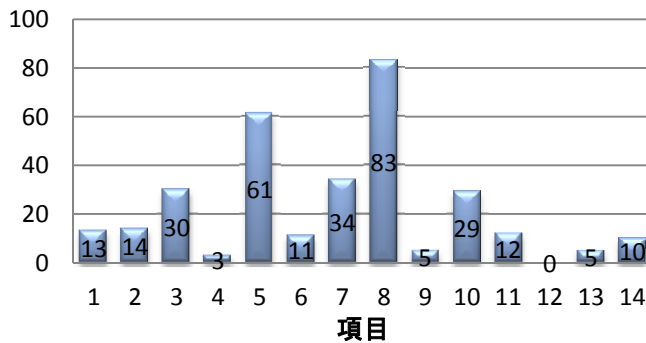
- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 人件費の増加
- 5位 熟練技術者(従業者)の不足

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

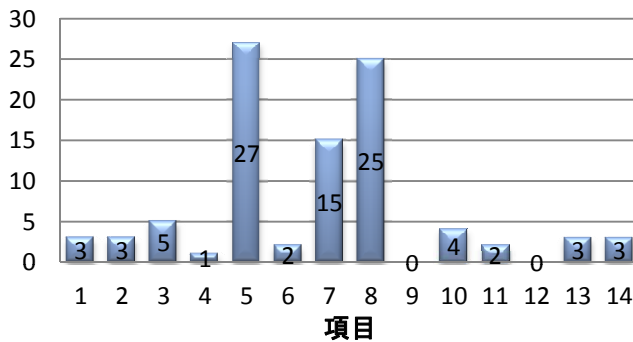
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

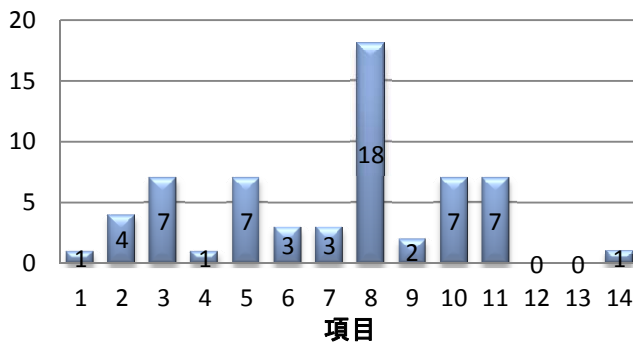
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

建設業



順位

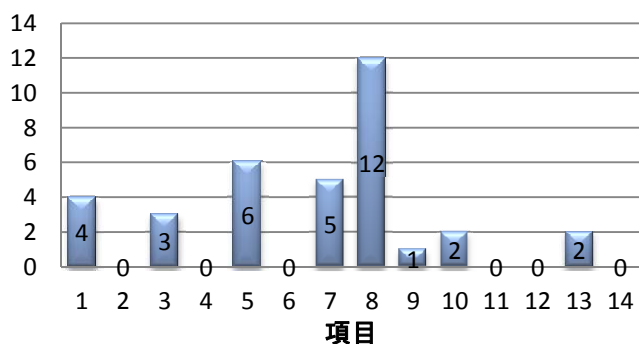
- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 下請発注を減らしたい

項目一覧

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.新規採用を見合わせたい | 2.雇用調整を行いたい(1を除く) |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.設備投資を縮小したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

7. 今後の対応策

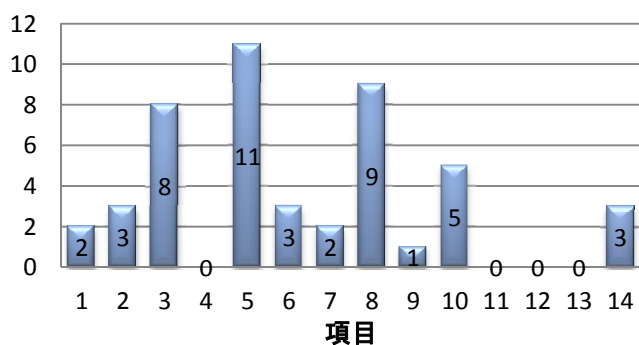
卸売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 人件費を削減したい

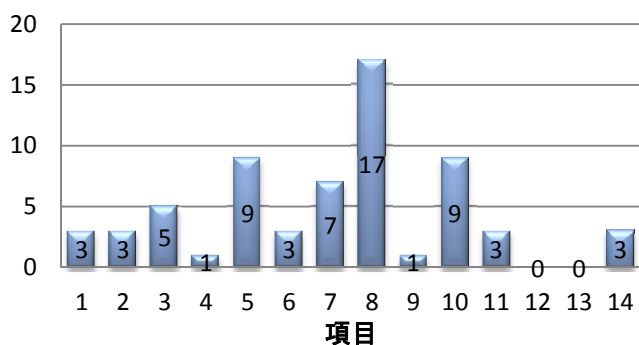
小売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 雇用調整を行いたい(1を除く)

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 経営の多角化を行いたい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 人件費を削減したい

項目一覧

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.新規採用を見合わせたい | 2.雇用調整を行いたい(1を除く) |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.設備投資を縮小したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	マシン部品製造業	宮崎	全般的には好転の方向にあると思いますが中小企業にとってはある意味転換期にあると同時に厳しさは続くと思っています。
製造業	焼酎製造販売	串間	「地産地消」行政サイドでの地元産品としての広告宣伝をお願いしたい。
製造業	製材、集成材	日南	CO2削減による国産材自給率50%達成のアドバルーンはこの円高では全く逆行している。政府は何をしているのか？対策を全くしていない。外材の入荷量の制限をすべきである。
製造業	自動車タイヤ製造	都城	企業が雇用に二の足を踏むような法規制を見直して頂きたい。例えば、派遣や請負の規制、期間契約社員の無期限化、パーツの保険加入条件低下等
製造業	製材・チップ	都城	生産コストと販売価格のバランスがばだまだ悪い。今後原油価格の上昇が続くとさらに輸送コストで利益が減少すると思われる。燃料価格の上昇を抑える施策を期待したい。
製造業	マシン部品製造業	宮崎	全般的には好転の方向にあると思いますが中小企業にとってはある意味転換期にあると同時に厳しさは続くと思っています。
製造業	省力化機械部品	串間	大企業の海外シフトは止めようがなく、仕方にないことだと思っています。国内だけで出来る新しい事業を起さないと空洞化の進む一方だと思えます。地方では第六次産業を起して雇用の確保に一日でも早く取り組むべきだと思います。
建設業	建設資材の販売	宮崎	建築工事部門に於いて工種の分けられる件については、別途受注を考慮していただきたい。
建設業	土木建築とび土工	宮崎	県の入札制度の改革で他地区の業者も入って来て仕事をする事は良い事であると思うが、一定額の手持ちがある業者は受注できる仕組みとなっているが、発注日を遅らせる事により、特定の業者が受注できる様になっている。入札ボンドを採用してもらいたい。
建設業	建築一式・建物改	宮崎	公共工事の発注増と地域内業者の限定政策
建設業	管・水道施設工事	都城	景気回復を待ち望んでいるが、明るき兆しが見えてこない。
建設業	建設業	日向	若夫婦(両方共美容店に7~8年の勤務経験あり、奥さんは財光寺出身)が弊社の貸店舗を借りて美容室を開店したいとのことなのですが、経営実務が無いので、店舗改修費用の融資の目途が立たず、念願が叶いそうにありません。こういう方は全国にごまんといっています。
建設業	電気工事業	高鍋	消費税の引き上げ反対。天下り廃止。すべての年金一元化。労働意欲が増える社会。
建設業	鉄工全般精密機	宮崎	政治が停滞しては経済はもっと進まない。
建設業	鉄工全般精密機	宮崎	政治が停滞しては経済はもっと進まない。

建設業	看板製作業	日向	前回アンケートと同じ内容ですが、屋外広告物＝景観を損なう物という基準により、一方的に条例や規制を厳しくしすぎたり、小さな広告物にまで、お金を徴収しはじめたやり方は、商売をする側からも広告しにくい状況を作ってしまう、当然私たち業者も売り上げは、下がって当たり前の状況になっています。一方的に決められてばかりで、25年間この職業ですが、最近困惑する事が多いですね。
建設業 建設業	土木建設業 建築一式工事	日南 高鍋	早期発注をお願いします。 町において住宅リフォーム助成事業を望む。公共工事はもう少し地域性を重視して入札を実施して欲しい
建設業	土木工事一式	串間	燃料の価格対策を急がなければ景気は悪くなるばかりである。中小企業の中には消費税が内税になっている例が多く、消費税が上がると更に収益が悪化する。
卸売業	建築資材卸	日南	いくら国や地方公共団体の財政状況が悪いからと言って、でてくるのは公共工事削減や増税ばかり、さらなる行革やインフラの整備等、やるべきことはしっかりとやらないと何の景気刺激にもならない。いわゆる負の連鎖になってしまうのでは、
卸売業	食品卸売	日向	現在の日本経済の停滞は20年続くデフレだと考えます。デフレでの施策は①金融緩和②公共投資拡大③減税が必要だと思いますが、現在は①を除いて逆の施策を推し進めている。
卸売業	椎茸卸	日向	将来景気が上向き期待が薄く不安だ。
卸売業	業務用製品卸	日向	政治の安定化
卸売業	建築資材販売	日向	当社の主軸である売り上げの土木林業関係の機械、資材、吹付工事等の底値が続行中です。この理由は円高の問題ですので、国としては対策を早くすることが大切、重要である
小売業	化粧品石鹸洗剤	宮崎	刑務所売店、県病院売店閉鎖等による売り上げの減少等。県・市からの管公需の拡大をお願いしたい。
小売業	時計貴金属小売	宮崎	消費税を上げたら益々デフレになります。少しインフレに向かわないと景気は上向かない。先づ国会議員を半減しないと自民も民主も次の選挙で半減することは確実である。国会中継の内容はもっと頭の良い人を送り込まないと現況は改められない。ヤジの品格の無いことに不信感がある。
小売業	総合小売業	宮崎	消費の閉塞感からの脱却のために思い切った施策を「地域振興券」発行イベント「宮崎B級グルメ集会」(大規模な)等の実施
小売業	飼料販売	都城	国はどう進むのか方向性をはっきりして頂きたい
小売業	家電販売	日南	自行努力しかない
小売業	食料品小売業	高鍋	消費税が上がるかもしれないということだけで買い控えが始まるのではと不安がある。商店街活性化への更なる助成を。
小売業	衣料関係小売	小林	消費税の導入はあらゆる手段を用いて再見されたい。今のまま導入されれば民間(特に中零細企業)は苦境に立たされると思う。
小売業 サービス業	石油製品販売 道路貨物運送業	日南 宮崎	日南市内の雇用の増大 ・高速道路等の有料道路無料化(割引率の拡大) ・軽油引取税の撤廃 ・自動車に掛かる諸掛税の抜本的見直し

サービス業	内装全般・畳・襖・宮崎		今、日本の伝統文化を担う後継者が居なくなる現状で、今後の日本はどうなっていくのか先行きが不安である。もっとそう言うところにも目を向けて頂くような行政で有って欲しい。経済的な豊かさばかり追い求めていくような風潮がある中、心の豊かさが見直されつつある事を確信する。
サービス業	不動産売買・仲介	宮崎	本当に消費税を10%にしても良いのか分からない。もっと削減して金を生んだ事はないのか
サービス業	一般飲食店	高鍋	消費税の問題10%はかなりの負担増は間違いなし。どうにかしてほしい。
サービス業	葬祭業	小林	増税反対
サービス業	タクシー業	小林	燃料(石油)関係の税の減免措置をしてもらえる様(イラン情勢が落ちつくまで)国に要望、実施を願いたい。社会保険等の負担が一方的に上がっているので国民への説明と承諾を取ってほしい。(国内で人を雇用しづらい環境が増している。)
サービス業	建築設計	日南	毎回同じことを言っていますが、建物を建設するときに市外の業者にさせる方達が多く見られます。さまざまな災害等にあつたときに一番頼りになるのは、地元の建設業者だと思いますが、このままだと、日南市内の会社はなくなると思います。